考えよう、わたしたちにできること
～身の回りのエネルギー問題～

実施校：木津川市立城山台小学校　滝本 拓郎 教諭

対象	小学6年生
時間	22時間

参考資料

グリーンパワーブック

科目・単元名

総合的な学習の時間

目標

節電の必要性を訴えるためにプロモーションビデオを作成し、より効果的に全校や地域に発信することができる。

期待できる学習効果

・主体的な行動が未来を担う子どもたちに「持続可能な社会を実現するために必要な実践態度」を育む
・自分たちの活動の中から成果と課題を見つけ改善しようとする一連の学習を通して、問題解決の能力を身に付けさせる。
・学びをプロモーションビデオにまとめることにより、情報活用力を培う。

授業内容

木津川市立城山小学校では環境を守る取組として、毎月節電を呼びかけています。
様々な活動を通じて子どもたちの「環境を守る」意識は高まっているが、なぜ節電することが環境を守ることに繋がっているのかを正しく理解出来ている児童は少ないです。
そのため、わが校の6年生は電気と地球環境との関係について学習し、学びを通じて一人一人が地球環境を守るためにできることを全校児童や地域に発信する授業を実施しました。

1　学校に設置されている太陽光パネルから、発電データや電気使用量をみて、太陽光発電の実態を知る。
2　日本の発電の仕組みとメリット・デメリットについて調べ、意見交換する。そうすることで、地球　環境の危機的状況や国際的な取り組みについて学ぶ。

授業のポイント☆　自分たちが使用する電気の量をコントロールする必要性を感じさせる。

3　全校児童に節電アンケートを実施し、子どもたちの意識調査を行う。

4　自分たちが学んだことを多くの人に伝えるために、情報発信の方法や内容についてみんなで検討した結果、今回はプロモーションビデオを作成することに決定。

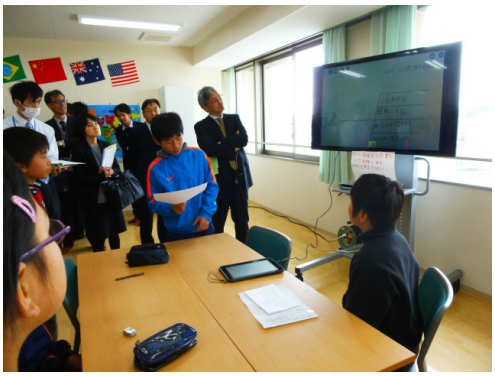
授業のポイント☆地域をあげて節電の取組が展開できるように、木津川市役所など地域の施設にビデオを流してもらうことを最終目標にする。そのため、環境問題についてどんなことを学んだのか、子どもたち自身が地域の人や職員にプレゼンテーションし、ビデオの上映を依頼する。

5　学びの発信と振り返りを行い、学びを自分のものとする。

考えよう、わたしたちにできること
～身の回りのエネルギー問題～

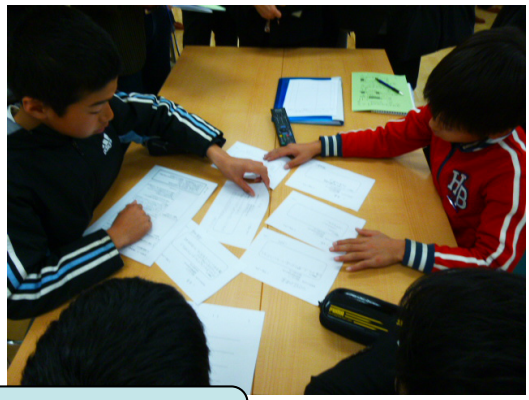
実施校：木津川市立城山台小学校　滝本 拓郎 教諭

授業の様子



作成中のプロモーションビデオを上映し、改善点について話し合いました。

ビデオに登場する節電博士です。クイズ形式で学べます。



市役所で上映してもらえるよう、自分たちでお願いに行きました。
結果、卒業後になりますが、4月中旬に実現することになりました。

子どもたちの反応・感想

子どもたちは節電の必要性を全校児童や広く地域住民に訴える手段について話し合い、実行することができていました。
今後は再生可能エネルギーへの転換を図っていくとともに、電気の供給量と受給量との関係から自分たちの生活を見直す必要性を感じていました。（滝本 拓郎 教諭）